

## 2 目標達成計画

事業所名： グループホーム じゅあんの園

作成日： 令和4年1月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。  
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	重症化や終末期への事業所としての対応には、従事する職員への不安を解消することが殊更重要なことから、個別の研修ではなく事業所で参加できる職員全員で、医師からの「終末期の看取り」研修を実施し、職員全体での共通認識を持ったうえで、各職種ごとの役割分担を明確にし、振り返りまでの職員のケアを含む事業所体制の充実を期待したい。	重度化や終末期の支援として、家族の思いに寄り添い、医療機関との連携、事業所対応を踏まえた指針を検討する。利用者、家族が安心して暮らせる施設を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力病院の医師と相談し、「終末期の看取りについて」研修会を開催し、人の生死について学び、職員の不安の緩和や知識向上に努めたい。</li> <li>・看護師を中心に、看取りケアについて内部研修を実施し、意見交換を行います。</li> </ul>	12 か月
2	13	避難計画の中に、備蓄品の確認欄を設けるなどして、定期的に食料品の補充や見直しをしながら、何が必要となるかを検討し、備えて行く事を望みたい。	突然起こりうる災害時に対し、『備蓄品確認表』を作成し定期的に確認することで、入居者様の食の安全確保と、職員が慌てず対応できる環境づくりを目指します。	早急に、職員や運営推進委員の消防署員の方にアイデアをいただきながら、『備蓄品確認表』を作成します。作成後は、確認表に沿って担当係を決め、賞味期限や不足品などの定期的な確認をします。	3 か月
3					か月
4					か月